

植物防疫情報第6号

平成28年3月29日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

麦類赤かび病の防除の徹底について

本年産麦類の生育は、現在のところ平年より早めに推移しており、11月上旬播種の大麦・小麦とも、3月下旬に出穂はじめの圃場が確認されています。広島地方気象台の3月24日発表の季節予報（1か月予報）によると、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並とされています。本病は開花期（大麦では穂揃期）から乳熟期に感染し、開花期以降に曇雨天が続く場合には発生が助長されます。**本病に対する薬剤散布は病原菌の感染前が効果的であり、感染後では効果が劣りますので、散布適期を逃さないよう万全を期して下さい。**

(1) 薬剤による防除法

薬剤散布は大麦で穂揃期とその7～10日後、小麦で開花最盛期頃（出穂7日後頃）とその7～10日後の2回行う。下表から薬剤を選定し、農薬使用基準に従って散布する。

(2) 防除上の参考事項

- ・大麦では2回目の薬剤散布の方が防除効果が高いので、1回目の散布時期を逃し、すでに大麦の穂揃期を過ぎている場合でも、速やかに薬剤散布を行う。
- ・大麦の穂揃期または小麦の開花最盛期から20日を過ぎると防除効果が低下する。
- ・小麦を除く麦類では、トップジンM水和剤及び粉剤では出穂期以降1回しか使用できないので注意する。
- ・収穫後は速やかに乾燥する。

(3) 麦類赤かび病の防除薬剤

(H28.3.24 現在)

薬剤名	麦種	散布量・希釈倍率	農薬使用基準	
			時期	回数
サルファーゾル	麦類	400倍	—	—
コロナフロアブル	麦類	400倍	—	—
イオウフロアブル	麦類	400～800倍	—	—
トップジンM粉剤DL	小麦	3～4kg/10a	収穫14日前まで	小麦： 3回以内（出穂期以降は2回以内） 麦類（小麦を除く）： 3回以内（出穂期以降は1回以内）
	麦類（小麦を除く）	4kg/10a		
トップジンM水和剤	小麦	1,000～1,500倍	収穫14日前まで	
	麦類（小麦を除く）		収穫30日前まで	
トップジンMゾル	小麦	1,000～1,500倍	収穫14日前まで	
	麦類（小麦を除く）	1,500倍		
トリフミン水和剤	麦類	1,000～2,000倍	収穫14日前まで	3回以内
トリフミン乳剤	小麦	1,000倍	収穫3日前まで	
シルバキュアフロアブル	小麦	2,000倍	収穫7日前まで	2回以内
	大麦		収穫14日前まで	
ストロビーフロアブル	麦類	2,000～3,000倍	収穫14日前まで	3回以内
ベルコート水和剤	小麦	1,000～2,000倍	収穫21日前まで	3回以内（出穂期以降は1回以内）
ワークアップ粉剤DL	麦類	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
ワークアップフロアブル	麦類	2,000倍	収穫7日前まで	

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。